

日本国民の皆様へ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、厚生労働省が提供する匿名レセプト情報、匿名特定健診情報を利用した疫学研究を実施しております。

研究の内容を詳しく知りたい方や、匿名レセプト情報、匿名特定健診情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	循環器リスク要因とパーキンソン病発症との関連に関する NDB データを用いた症例対照研究
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) (職名) (氏名) 疫学・公衆衛生学 教授 三宅吉博
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2028 年 3 月 31 日
対象となる方	20 歳以上の厚生労働省 National Database (NDB) に含まれる国民を対象候補者とし、この内、パーキンソン病の方 50 万人、パーキンソン病でない方 500 万人
利用する情報	①患者背景：性別、指標日の年齢、居住都道府県、パーキンソン病病歴 ②処方：パーキンソン病、高血圧、脂質異常症、糖尿病に関わる薬剤 ③臨床検査（特定健診）BMI、腹囲、収縮期血圧、拡張期血圧、中性脂肪、HDL コレステロール、LDL コレステロール、空腹時血糖、HbA1c、喫煙
研究の概要 (目的・方法)	高血圧、脂質異常症、糖尿病がパーキンソン病の発症に影響しているのかを調べます。厚生労働省の NDB からパーキンソン病の方 50 万人、パーキンソン病でない方 500 万人を抽出して、高血圧、脂質異常症、糖尿病の割合に差があるかどうかを調べます。
個人情報の保護 について	厚生労働省が提供する NDB には、個人をただちに識別特定できる情報は含まれていません。データは愛媛大学で厳重に保管・管理いたします。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学大学院医学系研究科 疫学・公衆衛生学 三宅 吉博 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5282